

18区分別科目(必修科目):

各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目(研修期間:6か月)

特定行為区分	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	8	—	5 症例	1(OSCE)	9+5 症例
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	20.5	6	各 5 症例	2.5	29+各 5 症例
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	7	—	5 症例	1(OSCE)	8+5 症例
循環器関連	14.5	3	各 5 症例	2.5	20+5 症例
心嚢ドレーン管理関連	7	—	5 症例	1	8+5 症例
胸腔ドレーン管理関連	10.5	1	各 5 症例	1.5	13+各 5 症例
腹腔ドレーン管理関連	7	—	5 症例	1	8+5 症例
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	6	—	5 症例	1	7+5 症例
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	7	—	5 症例	1	8+5 症例
創傷管理関連	31	—	各 5 症例	3(OSCE)	34+各 5 症例
創部ドレーン管理関連	5	—	5 症例	1	6+5 症例
動脈血液ガス分析関連	11.5	—	各 5 症例	1.5(OSCE)	13+各 5 症例
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	12.5	2	各 5 症例	1.5	16+各 5 症例
感染に係る薬剤投与関連	21	6	5 症例	2	29+5 症例
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	11	3	5 症例	2	16+5 症例
術後疼痛管理関連	5.5	1.5	5 症例	1	8+5 症例
循環動態に係る薬剤投与関連	18	6.5	各 5 症例	3.5	28+各 5 症例
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	19	4.5	各 5 症例	2.5	26+各 5 症例